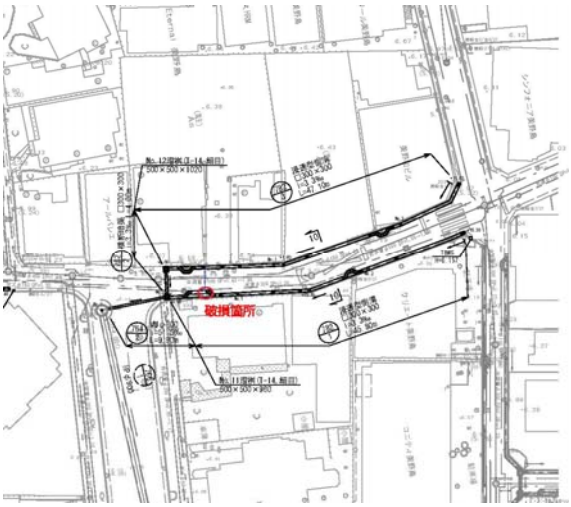
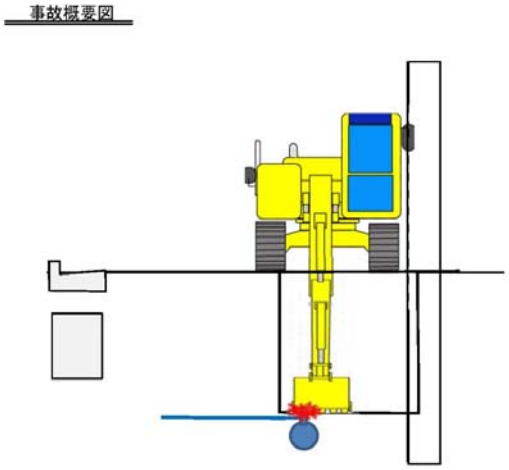
様式６－２（市HP公開用）

公 共 工 事 等 事 故 情 報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	平成31年　1月　8日（火曜日）　10時15分			工事関係者区分	元請け
事故区分	埋設物等損傷	性別		年齢		業種区分	
被災程度	給水管損傷			事故レベル	Ⅰ	休業見込日数	
工事概要	道路下水道局建設部中部下水道課						
事故概要	側溝を布設するためにバックホウで掘削した際に，給水管に接触し破損させたもの。						
事故原因	掘削作業において，電柱の転倒防止の根入れの確認に気をとられすぎたために，水道本管から給水管の分水栓の近接箇所で機械掘削を行ってしまった。						
改善策	・事故後の安全訓練（再発防止）の実施 ・給水管分岐箇所のマーキング						

事故状況図





改善状況図

安全訓練（再発防止）の実施

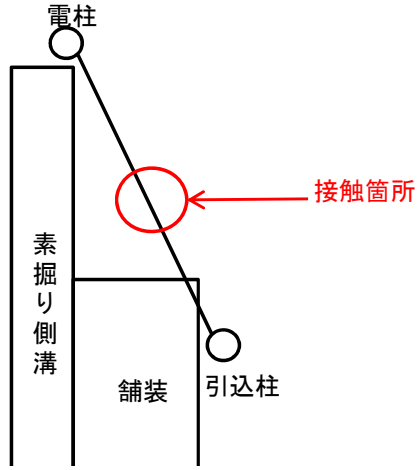
給水管分岐箇所のマーキング

様式６－２（市HP公開用）

公 共 工 事 等 事 故 情 報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	平成31年　1月　5日（土曜日）　10時23分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	架空線・信号等損傷	性別		年齢		業種区分	土木
被災程度	電力線破損			事故レベル	Ⅰ	休業見込日数	
工事概要	アイランドシティ地区平成30年度残土受入管理業務委託						
事故概要	車両洗車場の排水路に堆積した土をバックホウで撤去し，残土受入場所にバックホウのアームを上げた状態で移動した際に架空電線に接触し，損傷させた。						
事故原因	・重機のオペレーターと作業員に重機を誘導し作業を行うように周知していたが，作業手順の周知が不十分で重機のオペレーターが単独で移動を行ったこと。 ・当該架空線の確認が不十分で必要な保安措置を講じなかったこと。						
改善策	・洗浄作業等の業務にも詳細な作業手順書を作成し，作業従事者に作業手順の周知徹底を図った。 ・施工に先立ち上空施設の種類・位置等を確認し安全な離隔を確保するために必要な保安措置を講じた。						

事故状況図



改善状況図

保安措置（架空線注意）

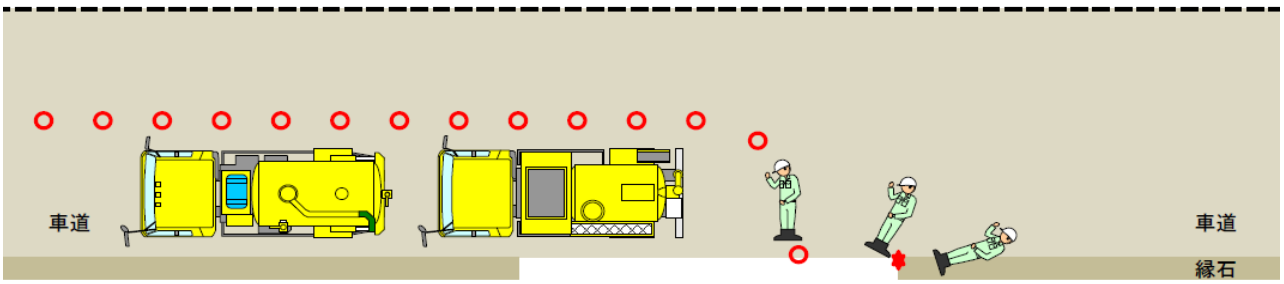
保安措置（架空線注意）

様式６－２（市HP公開用）

公 共 工 事 等 事 故 情 報

事故分類	労働災害	発生日時	平成31年1月17日（木曜日） 10時10分			工事関係者区分	元請け
事故区分	墜落・転落	性別	男性	年齢	46	業種区分	土木
被災程度	右第9・10肋骨骨折右肘関節部打撲傷			事故レベル	Ⅱ	休業見込日数	９日間
工事概要	下水道管の清掃清掃						
事故概要	下水道管の清掃業務において，清掃作業に使用する車両を撮影するために作業責任者がカメラを構えた状態で後退した際に，体勢を崩して転倒し，右脇腹を受傷したもの。						
事故原因	作業前に作業現場内の危険箇所の事前確認を行っていなかったこと。 写真撮影を作業員が単独で行い，他の作業員が作業中の状況を把握していなかったこと。						
改善策	・作業前のKY活動において、現場状況を含め作業手順を詳細に周知し、作業従事者全員で共有する。 ・作業時には，周囲の状況を確認するとともに複数で作業を行う。						

事故状況図



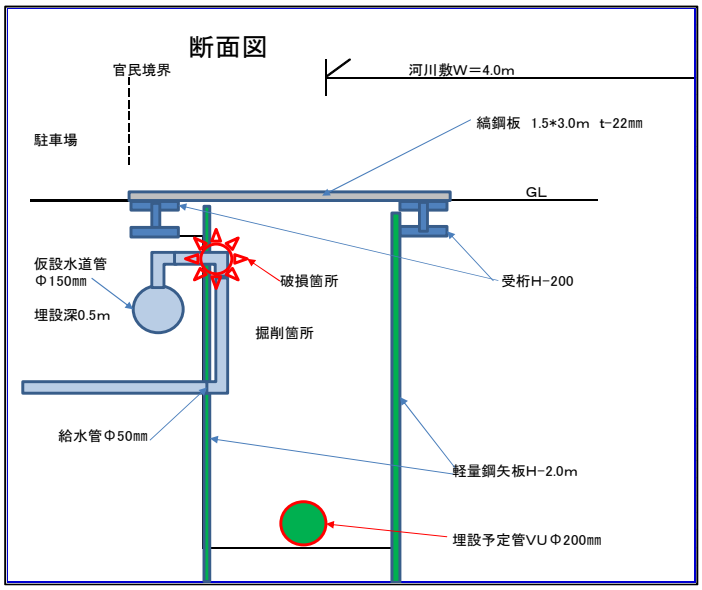
改善状況図

様式６－２（市HP公開用）

公 共 工 事 等 事 故 情 報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	平成31年1月17日（木曜日） 9時　50分			工事関係者区分	元請け
事故区分	埋設物等損傷	性別	―	年齢	－	業種区分	土木
被災程度	給水管φ50を破損			事故レベル	Ⅱ	休業見込日数	－
工事概要	汚水管新設工事						
事故概要	下水道管を布設するため機械掘削した際に，仮設水道管からの給水管に接触し破損させたもの。						
事故原因	・KY活動時に仮設本管と近接作業となることは認識していたにも関わらず，地下埋設物の状況を作業従事者及びオペレーターに周知が不十分で，地下埋設物への必要な保安措置を怠ったこと。 ・掘削断面内に埋設物が存在しないと思い込み機械掘削を行ったこと。						
改善策	安全研修を実施し下記事項を行うこととした。 ・地下埋設物管理者との事前協議を徹底し，地下埋設物の位置や深さについて作業従事者に確実に周知する。 ・現場条件に応じて，マーキングが困難な施工箇所においてもカラーコーン等を用いて地下埋設物位置確認をするなど，十分な保安措置を行う。						

事故状況図



改善状況図

研修状況

地下埋設物
位置表示

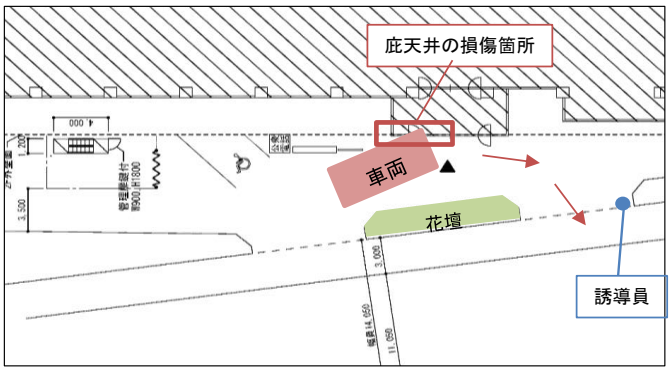
民地部でマーキングが出来ないため，カラーコーンによる埋設位置確認

様式６－２（市HP公開用）

公 共 工 事 等 事 故 情 報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	平成31年1月19日（土曜日）　9時　20分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	その他の物損	性別	—	年齢	—	業種区分	建築
被災程度	玄関庇の天井の損傷			事故レベル	Ⅰ	休業見込日数	
工事概要	屋上防水改良工事						
事故概要	資材搬入車両の荷下ろし作業終了後，車両を搬出するため，移動させた際に，玄関先の庇天井に接触し損傷させたもの。						
事故原因	・運転者の意識が運転席側にあった花壇にいってしまい，周囲状況を把握せずに車両を大曲して敷地出入口に進入しようとしたこと。 ・誘導員が一般道路への出入口に配置し，車両への誘導や合図を怠ったこと。						
改善策	・大型車両による資材の搬出入を行う際は，事前に侵入経路や現場状況を運転者と打ち合わせし，事前に注意事項等を運転者に周知を行うようにした。 ・大型車両による資材の搬出入を行う際は，誘導員は運転者から見やすい位置で誘導を行うようにした。 ・運転者は発進前に車両からおりて周囲の安全確認を行うこと。						

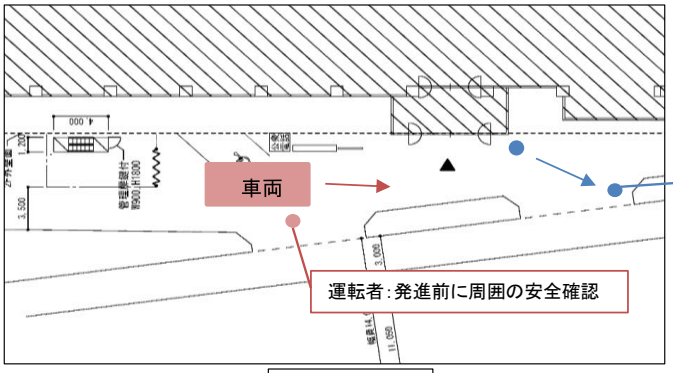
事故状況図



事故状況図

庇天井面の損傷状況

改善状況図



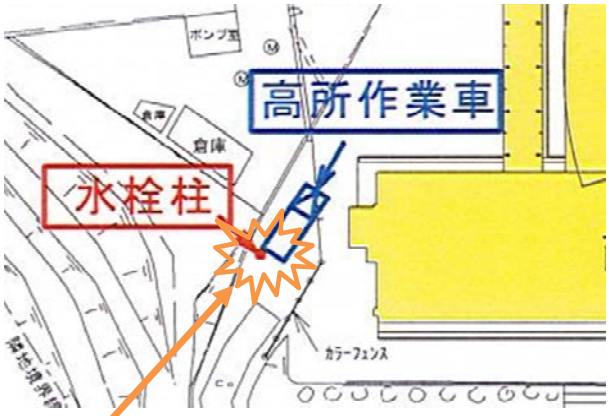
改善状況図

様式６－２（市HP公開用）

公 共 工 事 等 事 故 情 報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	平成　31年　1月　18日（金曜日）　18時　30分			工事関係者区分	元請け
事故区分	その他の物損	性別		年齢		業種区分	建築
被災程度	水栓柱の破損，水漏れ			事故レベル	Ⅰ	休業見込日数	－
工事概要	学校校舎の増築工事・内部改造工事						
事故概要	高所作業車を校外の駐車場へ移動するため通路を後進した際に，通路隅の水栓柱に接触し破損させたもの。						
事故原因	・交通誘導員を配置せず，周辺の状況も把握しないままで，単独の運転で高所作業車を後進させたこと。 ・安全巡視を単独で行い，高所作業車を移動させる判断を現場責任者に確認せずに行うなど，指示命令が不十分だったこと。						
改善策	工事現場内及びその周辺の安全巡視を複数名で行うようにした。 また，単独の判断で動くことがないよう，工事現場における指揮系統を確認，周知した。						

事故状況図



高所作業車を後進中，通路隅にあった水栓柱に接触し，破損させた

破損させた水栓柱

改善状況図

複数名による安全巡視状況

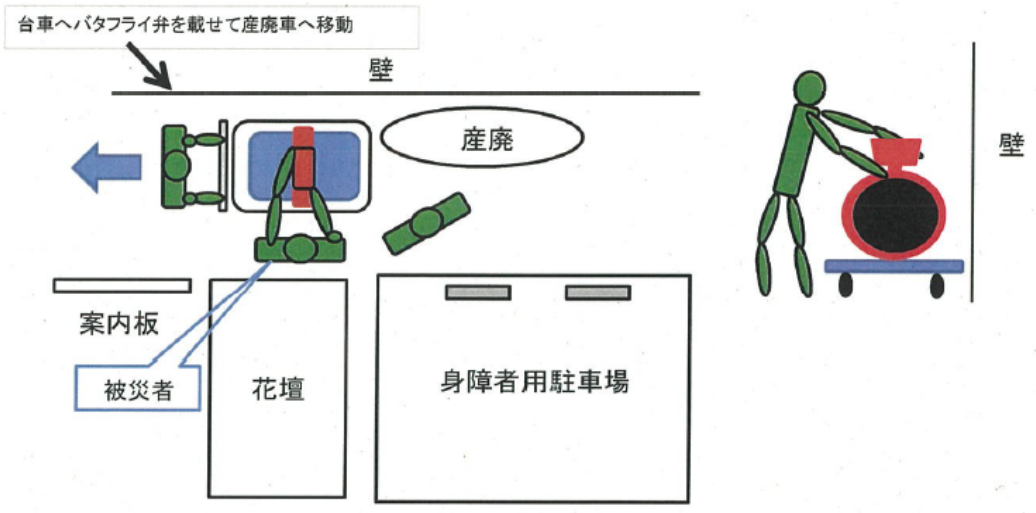
交通誘導員を配置しての工事車両運転状況

様式６－２（市HP公開用）

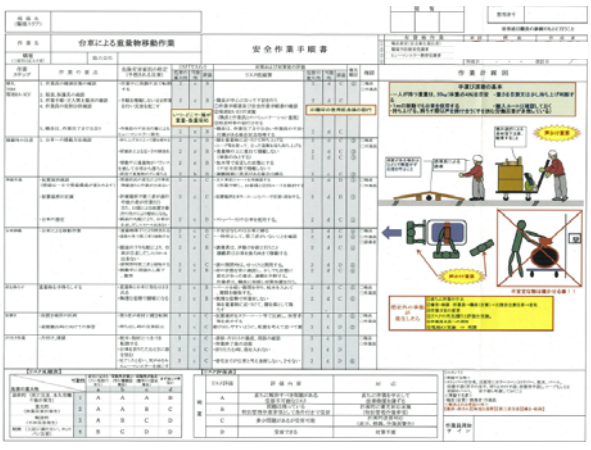
公 共 工 事 等 事 故 情 報

事故分類	労働災害	発生日時	平成31年1月 24日（木曜日） 17時 30分			工事関係者区分	一次下請
事故区分	挟まれ・巻き込まれ	性別	男性	年齢	54	業種区分	設備
被災程度	左手親指第一関節骨折			事故レベル	Ⅰ	休業見込日数	0日
工事概要	受水槽及び雨水槽廻りの自動制御機器の更新工事						
事故概要	更新で撤去した重量機器（バタフライ弁）を台車で仮置き場から産廃運搬車まで移動させようとした際に，台車が段差に引っ掛かり，バタフライ弁がぐらついた結果，バタフライ弁と壁に指が挟まれ負傷した。						
事故原因	・バタフライ弁を安定していない（立たせた）状態で台車に積み込み，移動させようとした。 ・事故当時現場代理人は別の作業場所に離れ，現場にいた下請の作業主任者は当該積み込み状況の確認を怠っていた。						
改善策	・台車による重量機器の移動作業に係る詳細な安全作業手順書を作成するとともに，当該内容の周知徹底を図った。 ・ヒューマンエラー教育及び緊急事態懸念時の対応について，主な下請業者も交えて研修・周知会を実施した。						

事故状況図



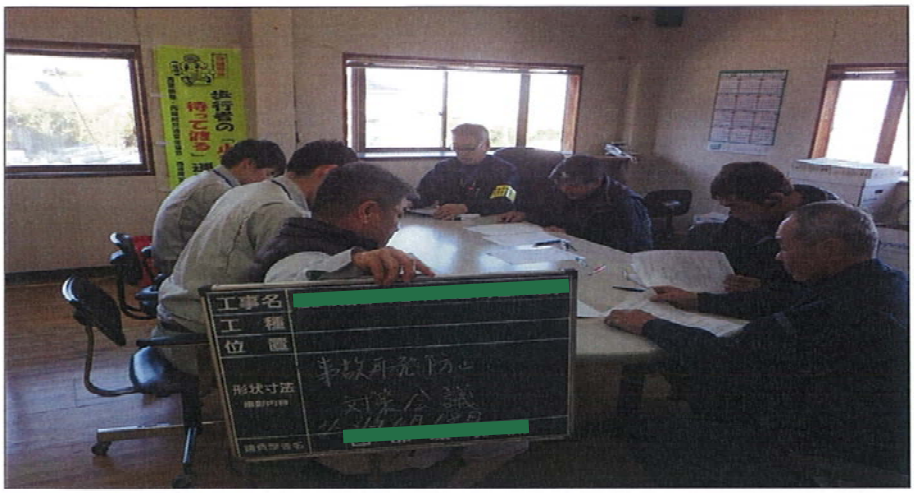
改善状況図



様式６－２（市HP公開用）

公 共 工 事 等 事 故 情 報

事故分類	物損公衆災害	発生日時	平成31年1月16日（水曜日）　14時30分頃			工事関係者区分	元請け
事故区分	埋設物等損傷	性別	—	年齢	—	業種区分	土木
被災程度	給水管(φ20mm)損傷			事故レベル	Ⅰ	休業見込日数	１日
工事概要	下水道工事（側溝布設）						
事故概要	地下埋設物の位置を確認するための試掘調査で，給水管を露出させながら人力にて掘削していたが，不可視部分の給水管(φ20mm)に接触し破損させた事故である。						
事故原因	地山が固くなったところで，スコップの先端が給水管に向いた状態で踏み込んだこと。 施工業者の不注意による施工。						
改善策	・事故後再発防止研修の実施した。 ・日々のKY活動時に人力機械工具の仕様手順や状況に応じた工具使用等を作業従事者に周知徹底した。						

事故状況図

改善状況図